Red Hat Ansible Automation Platform 2.1

Job Explorer を使用した Automation コントローラージョブ実行の評価

フィルターを適用し、属性ごとに並べ替えて、ジョブとテンプレートをより詳細に確認

Last Updated: 2023-08-11

Red Hat Ansible Automation Platform 2.1 Job Explorer を使用した Automation コントローラージョブ実行の評価

フィルターを適用し、属性ごとに並べ替えて、ジョブとテンプレートをより詳細に確認

法律上の通知

Copyright © 2023 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at
http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/
. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux ® is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java ® is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS ® is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL ® is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js ® is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack ® Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

Job Explorer を使用して、Ansible Tower 自動化イニシアチブからの情報をより深く掘り下げます。視覚化された情報の背後にある詳細を調べて、コンテキストデータを評価し、Ansible Tower クラスター上のジョブとテンプレートにリンクします。

目次

多様性を受け入れるオープンソースの強化 3

第1章 JOB EXPLORER について 4

1.1. ジョブのフィルターリングおよびソートされたビューの作成 4

1.2. クラスターデータへのドリルダウン 5

1.3. 特定のクラスターでの上位テンプレートのジョブの詳細の表示 5

1.4. ネストされたワークフローとジョブを無視する 6

多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティーにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ をご覧ください。

第1章 JOB EXPLORER について

Job Explorer は、組織全体の Ansible Tower クラスターで実行されるジョブの詳細ビューを提供します。ナビゲーションタブを直接クリックするか、アプリケーションの各チャートで使用できるドリルダウンビューを使用して、**Job Explorer** にアクセスできます。

Job Explorer を使用すると、以下が可能になります。

- クラスターまたは組織で実行しているジョブのタイプをフィルターします。
- さらに評価するために、Ansible Tower のテンプレートに直接リンクします。
- ジョブの失敗を特定し、確認します。
- クラスターで実行される上位テンプレートの詳細を表示します。
- ネストされたワークフローとジョブを除外します。

以下のセクションでは 、**Job Explorer** の機能と詳細を確認できます。

1.1. ジョブのフィルターリングおよびソートされたビューの作成

Job Explorer を使用して、選択した属性でフィルターリングされたジョブの一覧を表示できます。

以下はフィルターオプションになります。

- Status
- Job
- Cluster
- Organization
- Template

フィルターツールバーの **Sort by** オプションを使用して、パラメーターセットで結果を並べ替えることができます。

手順

1. **Insights → Job Explorer** に移動します。
2. フィルターツールバーで **Filter by** ドロップダウンメニューをクリックし、**Job** を選択します。
3. 同じツールバーで時間範囲を選択します。Job Explorer は、その時間範囲内のジョブを表示するようになりました。
4. 結果をさらに絞り込むには、フィルターツールバーに戻り、結果をフィルターリング処理するジョブステータス、クラスター、組織などの別の属性を選択します。

Job Explorer ビューが更新され、選択した属性に基づいてジョブのリストが表示されます。

1.1.1. 個別のジョブに関する詳細情報の表示

ジョブ **Id/Name** 列の横にある矢印アイコンをクリックして、そのジョブに関連する詳細情報を表示できます。

1.1.2. Ansible Tower でのジョブの詳細の確認

Id/Name 列でジョブをクリックし、Ansible Tower ジョブの詳細ページでジョブ自体を表示します。Ansible Tower でのジョブの詳細の表示に関する情報は、Ansible Tower ユーザーガイド の **Jobs** を参照してください。

1.2. クラスターデータへのドリルダウン

クラスターデータにドリルダウンし、ジョブの成功または失敗についての詳細を確認することができます。**Job Explorer** のページに表示される詳細ビューには、クラスター、組織、テンプレート、およびジョブタイプに関する情報が提供されます。**Clusters** ビューで選択したフィルターは、**Job Explorer** ページに引き継がれます。

これらのジョブテンプレートの詳細は、**Clusters** ビューで選択したフィルターによって修正され、**Job Explorer** ビューに表示されます。

たとえば、ドリルダウンして、クラスター内の失敗したジョブの詳細を確認できます。詳細は、以下を参照してください。

1.2.1. 例: 失敗したジョブの確認

Cluster ビューのグラフをドリルダウンし、**Job Explorer** を使用して結果を絞り込むことにより、組織全体で失敗したジョブの詳細を表示できます。グラフの特定の部分をクリックすると、その情報が **Job Explorer** で開き、**Clusters** ビューでフィルターを使用したときに作成されたコンテキスト情報が保持されます。

手順

1. **Insights → Clusters** に移動します。
2. フィルターツールバーで、選択したクラスターと時間範囲にフィルターを適用します。
3. グラフのセグメントをクリックします。

Job Explorer ビューにリダイレクトされ、その日に対応する成功したジョブと失敗したジョブのリストが棒グラフに表示されます。

失敗したジョブのみを表示するには、以下を実行します。

1. **Filter by** ドロップダウンメニューをクリックし、**Status** を選択します。
2. **Failed** フィルターを選択します。

ビューが更新され、その日に実行された失敗したジョブのみが表示されます。

追加のフィルターを適用し、結果を並べ替えるための属性を選択して、ビューにさらなるコンテキストを追加します。Ansible Tower ジョブの詳細ページで失敗したジョブの詳細をリンクして確認します。

1.3. 特定のクラスターでの上位テンプレートのジョブの詳細の表示

クラスター内の上位テンプレートのジョブインスタンスを表示して、そのテンプレートに関連付けられている個々のジョブの実行の詳細を確認したり、フィルターを適用してデータをさらにドリルダウンしたりできます。

手順

1. **Clusters** に移動します。
2. クラスタードロップダウンリストからクラスターを選択します。ビューはそのクラスターのデータで更新されます。
3. **Top Templates** のテンプレート名をクリックします。
4. 表示されるモーダルで **View all jobs** をクリックします。

Job Explorer は、そのテンプレートに関連付けられた選択したクラスターのジョブをすべて表示します。表示されるビューでは、**Clusters** ビューで選択されたパラメーターに基づいて、テンプレートのコンテキスト情報を保持します。

1.4. ネストされたワークフローとジョブを無視する

Job Explorer ビューで切り替えスイッチを使用して、ネストされたワークフローとジョブを無視します。このオプションを選択して、重複するワークフローとジョブテンプレートのエントリーを除外し、それらの項目を全体の合計から除外します。

注記

ネストされたワークフローについて

ネストされたワークフローを使用すると、他のワークフロージョブテンプレートを呼び出すワークフロージョブテンプレートを作成できます。ネストされたワークフローは、モジュール化されたコンポーネントとして、複雑なプロセスと操作を自動化するための既存のビジネスロジックと組織の要件を含むワークフローの再利用を促進します。

ネストされたワークフローに関する詳細は、Ansible Tower ユーザーガイド の **Workflows** を参照してください。